



## LNGを燃料としたタグボートプロジェクトへの参画について

ヤンマー株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：山岡健人、以下「ヤンマー」）は、株式会社商船三井（社長：池田潤一郎、以下「商船三井」）が開発を決定したLNG（液化天然ガス）を燃料とするタグボート<sup>※1</sup>（以下「本船」）への参画を開始します。

本船は商船三井が船主となり、金川造船株式会社（社長：生駒剛人）が建造を、大阪ガス株式会社（社長：本荘武宏）がLNG燃料の供給を、日本栄船株式会社（社長：大森茂士）が運航をそれぞれ行うもので、2019年4月に大阪湾に配備される計画です。ヤンマーは本船に対してLNGを燃料とした環境性能に優れたデュアルフューエルエンジン<sup>※2</sup>を推進用主機関として供給を行う予定です。

国際海事機関（IMO）は2016年10月に、日本を含む一般海域において2020年から硫黄酸化物（SO<sub>x</sub>）に対する規制を強化することを決定しました。日本でも国土交通省を中心に、環境性能に優れたLNG燃料を船舶に供給する「LNGバンカリング」の推進に向けた取り組みが本格化しています。このような状況のもと、今後はLNGを燃料とした船舶用機関の普及拡大が見込まれています。

ヤンマーは船舶用ガスエンジンの開発を、公益財団法人日本財団の助成を受けて2011年から3年間かけて実施してきました。その中で確立した制御技術を、本船向けデュアルフューエルエンジンに適用しています。

今後更に、各業界の関係者とともに環境性能に優れたクリーンな船舶用機関に関する技術開発につとめ、ブランドステートメントであるA SUSTAINABLE FUTURE—テクノロジーで新しい豊かさへのものと、地球環境と人々の豊かな暮らしの調和を目指してまいります。

※1 タグボート：大型船や水上構造物が岸壁や棧橋へ離着陸する際に補助を行う船舶

※2 デュアルフューエルエンジン：A重油とLNGそれぞれを燃料として使用できるエンジン

<注記>

ニュースリリースに記載されている内容は、記者発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

---

【本件に関するお問合せ先】

ヤンマー株式会社 経営企画ユニット ブランドコミュニケーション部 広報グループ

TEL: 06-6376-6212 E-mail: [koho@yanmar.com](mailto:koho@yanmar.com)